

おもしろノート

多摩の野鳥たち

8

国松 俊英

先日、大阪の放送局から電話がありまして。大阪港近くで黒いスズメが見つかったそうです。どうして黒いスズメが生まれたのかとか、スズメの生活についていろいろ聞かれました。写真を見るとスズメの体は真っ黒で、黒い染料容器から抜け出したように思えました。

スズメ



田中 忠義さん撮影

稲田減少・都市化で消える一方

これはスズメの体の色素が変異しておきる黒化現象で、野鳥に時々おきる現象なのでした。とてもめずらしいです。スズメは人間に近いほんなりに鳥です。人の住宅のすぐそばに住んでいて、人がごぼしたり落としたりする食物を餌にして生きています。極端に寒い地方とか標高の高い所では、人の住む所ならどこにでもいます。過疎の村では、廃屋を残して人が姿を消すと、スズメもいつのまにかいなくなります。逆にスキー場ができたりして山地に人が住みつくると、いつのまにかスズメが現れて定着してきます。都内のある小学校では非常ベルの内側に、ある高校では外壁にとりつけたスピーカーに、またある高校では用務員室のガ

先日、大阪の放送局から電話がありまして。大阪港近くで黒いスズメが見つかったそうです。どうして黒いスズメが生まれたのかとか、スズメの生活についていろいろ聞かれました。写真を見るとスズメの体は真っ黒で、黒い染料容器から抜け出したように思えました。これはスズメの体の色素が変異しておきる黒化現象で、野鳥に時々おきる現象なのでした。とてもめずらしいです。スズメは人間に近いほんなりに鳥です。人の住宅のすぐそばに住んでいて、人がごぼしたり落としたりする食物を餌にして生きています。極端に寒い地方とか標高の高い所では、人の住む所ならどこにでもいます。過疎の村では、廃屋を残して人が姿を消すと、スズメもいつのまにかいなくなります。逆にスキー場ができたりして山地に人が住みつくると、いつのまにかスズメが現れて定着してきます。都内のある小学校では非常ベルの内側に、ある高校では外壁にとりつけたスピーカーに、またある高校では用務員室のガ



イラスト・望月 聖子

イェスズメに街から追いやられて、郊外の林や農地で生活しています。そのイェスズメに異変がおきました。2001年4月の新聞に、「イギリスでスズメが消えた」という記事が載り、驚かされました。イギリスの街角にいたイェスズメが姿を消したことがわかったのです。ロンドンの街ではイェスズメは半分に減り、イギリス全体では25年前に比べて9割も減ったのです。それから、イギリスの鳥類保護団体などが減った原因を懸命に調査していますが、今もはっきりした原因はわかっていません。しかし原因らしいものは、いくつかわかってきました。大気汚染によって餌の昆虫が汚染されてイェスズメが影響を受けているとか、都市の建物が近代化したので餌を作る場所がなくなったか、孵化したヒナに食べさせめとか、孵化したヒナに食べさせる餌、昆虫の幼虫が不足しているといったことなどです。昨年、私もロンドンを訪ねて観察しましたが、街の中、住宅地、公園ではイェスズメの姿をほとんど見ることはできません。他人ごとではありません。スズメの数は日本でも減っていると思われま。東京周辺では稲田がうんと少なくなり、大群のスズメは見られなくなりました。1960年に600万ヘクタールあった日本の農地は、2004年には470万ヘクタールに減っています。秋の稲田にあつまるスズメが減るのはあたり前のことです。その他にも、餌の昆虫が減り、巣を作る場所が少なくなり、ねぐらになる竹ヤブが減少しています。これからも各地でスズメはどんどん減っていくと思われま。とても恐ろしいことです。(児童文学作家・日本野鳥の会会員 町田市在住)

日本にいるスズメ 【スズメ】 全長15センチ。クリ色の頭のとこと類の黒いもやうが特徴です。渡りをしないので、体にくらべて翼は小さめ。秋と冬は群れをつかって生活します。里スズメといひます。 【ニューナイスズメ】 全長はスズメとほぼ同じくらい。山スズメといわれ、本州の中部から北の山地や北海道にいます。秋と冬は南の温かな平地に移動して生活します。頭や背はスズメより赤っぽく、頬には黒い斑点があります。 【イェスズメ】 1990年に北海道利尻島で発見され、日本スズメの3種目となりました。体はスズメより少し大きい。ヨーロッパを中心に生活していましたが、シベリア鉄道に沿って東に生活の場を広げ、ロシアから北海道に飛んできました。